様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	横浜女子短期大学
設置者名	学校法人白峰学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	保育科	夜・通信	8		45	53	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44492-27c02de9056055683f7c808f3fc3ee75

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	横浜女子短期大学
設置者名	学校法人白峰学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://p1.ssl-dl.jp/dl/44431-935667a1f2d5b19f71ef3c65b3d6f039

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士	2022.5.31 ～ 2024.5.30	法務
非常勤	牧師	2022.5.31 ～ 2024.5.30	教学支援
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜女子短期大学
設置者名	学校法人白峰学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 本学の教育課程の編成･実施の方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、幼稚園教諭養成課程として、指定保育士養成施設としての設置要件を満たすように教育課程委員会より、授業方法、内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を記載した授業計画（シラバス）を各担当教員に作成するように依頼し、提出された授業計画案が上述の要件を満たしているか当該委員会と教学課で確認のうえ、必要な修正を担当教員と協力して行いとりまとめ、３月末までに印刷物を完成させ、学生・高等学校などの関係各所に配布し、またホームページでも公表している。

授業計画書の公表方法	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44436-763d7890a7d775a97bb61af4369b7c71

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 本学の教育課程の編成･実施の方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、幼稚園教諭養成課程として、指定保育士養成施設としての設置要件を満たすように教育課程委員会より、授業方法、内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を記載した授業計画（シラバス）を各担当教員に作成するように依頼し、提出された授業計画案が上述の要件を満たしているか当該委員会と教学課で確認のうえ、必要な修正を担当教員と協力して行いとりまとめ、３月末までに印刷物を完成させ、学生・高等学校などの関係各所に配布し、またホームページでも公表している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績評価において、客観的な指標としてＧＰＡを設定している。ＧＰＡに応じて、注意勧告等による学修指導を行っている。 ・算出方法については、成績評価を「秀…5、優…4、良…3、可…2、不可・失格…1」で判定し、段階評価点ＧＰをつけている。 ・ＧＰＡ値…各期ごとの成績確定科目についての段階評価点ＧＰの平均値。 ・累積ＧＰＡ値…１年前期からその期までのすべての成績確定科目の段階評価点ＧＰの平均値。 成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44493-71fd9988cc4e5485b2fd7b85c30cc152
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 「愛と奉仕の精神」を育み、以下のような諸特性を形成し、保育の現場で活躍できる教養、専門知識、専門技術を身につけ、所定の単位を修得した者に「短期大学士（保育士）」の学位を適切に授与している。あわせて、必要な単位の修得により、保育士証と幼稚園教諭二種免許状を取得できるようにし、全人格的に社会に貢献できる保育者を育成している。 ・保育者としての使命・責任を自覚し自ら学び続け、成長しようとする意欲と行動力 ・保育者に必要な豊かな人間性と社会性を支える学力とコミュニケーション力 ・子どもの発達と心理を理解し、子どもの幸福で健全な発達を支援していく意欲、知識・実践力 ・子どもの各年齢時期に適した環境・生活を構成していく実践力 ・地域や家庭との連携に積極的に関わっていく行動力 ・保育・幼児教育を支える保育内容の統合的理解・指導力と教科に関わる基礎技能	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ https://www.yokotan.ac.jp/college/spirit

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	横浜女子短期大学
設置者名	学校法人白峰学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44424-bfb94998c90b5ebe8b450307e74fcfea
収支計算書又は損益計算書	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44421-de6faa3b019adfb87392755eb0e00328
財産目録	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44425-a3a084b2a3c5b128435002eac1fac456
事業報告書	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44420-96a6395b32766736ce4cb9b16974376b
監事による監査報告（書）	ホームページ　https://p1.ssl-dl.jp/dl/44426-b9320a2d21cb2f5f2b55c08fb9f0e4c3

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	

３３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページ　https://dl2.dl.multidevice-disc.com/dl/25691-e4fbc9a456654646e762ec1f4f597091

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページ　https://www.yokotan.ac.jp/college/accredited

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　保育科
教育研究上の目的（公表方法：ＨＰ　https://www.yokotan.ac.jp/college/spirit）
（概要） 『キリスト教の「愛と奉仕」を精神の礎として社会に貢献する人材を育成する』ことを建学の精神としている。この建学の精神に則り、保育科単科の本学では、『キリスト教の「愛と奉仕」の精神を育む人間教育、教養教育によって、女性としての人間性をより豊かなものとし、「保育者養成の道ひとすじに」、児童の福祉と幼児教育に関する専門的知識と実践による技術を教育することを通じて、子どもたちの「豊かな育ち」を支えることができる、「愛」に満ち、「人間性」と「実践力」に優れた、さらに「自己成長力」を備えた保育者を育てる』ことを教育理念・教育目標としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ＨＰ　https://www.yokotan.ac.jp/college/spirit）
（概要） 保育科単科の本学で学修を進め、「愛と奉仕の精神」を育み、以下のような諸特性を形成し、保育の現場で活躍できる教養、専門知識、専門技術を身につけ、所定の単位を修得した者に「短期大学士（保育士）」の学位を授与する。あわせて、必要な単位の修得により、保育士証と幼稚園教諭二種免許状を取得できるようにし、全人格的に社会に貢献できる保育者を育成する。 ・保育者としての使命・責任を自覚し自ら学び続け、成長しようとする意欲と行動力 ・保育者に必要な豊かな人間性と社会性を支える学力とコミュニケーション力 ・子どもの発達と心理を理解し、子どもの幸福で健全な発達を支援していく意欲、知識・実践力 ・子どもの各年齢時期に適した環境・生活を構成していく実践力 ・地域や家庭との連携に積極的に関わっていく行動力 ・保育・幼児教育を支える保育内容の統合的理解・指導力と教科に関わる基礎技能
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ＨＰ https://www.yokotan.ac.jp/college/spirit）
（概要） 本学の教育理念を実現するため、ディプロマ・ポリシーで示した人材を育成するために、保育科単科の本学では、大きく「教養科目」と「専門教育科目」の２領域に分けて科目設定を行っている。 ・［教養科目］は、人間として、保育者として幅を広げるためのもととなる教養を高め、健康の維持・増進を図ることを目的とした科目で「教養科目」「外国語科目」「保健体育科目」の領域で構成し、設置しています。「外国語科目」は国際共通語の１つである英語教育科目を設置しているが、幼児教育の現場で活用できる学習となる内容構成にしている。 ・「専門教育科目」は、保育・幼児教育の理念と原理を学修し、保育・幼児教育の実践に必要な専門知識や技能を身につけられるように、「保育・教育に関する科旧」「福祉に関する科目」「保健・栄養に関する科目」「保育の心理学に関する科目」「教科・基礎技能に関する科目」「保育内容に関する科目」の６領域に渡って科目を設置している。 ・実際に保育の現場で働くために必要な保育士証、幼稚園教諭二種免許状が取得できるように、さらに保育士、幼稚園教諭としての実践力が身につくように「教養科目」と「専門教育科目」に含める教科目を重層的に構成している。 ・資格・免許取得に関連して、「保育・教育に関する科目」の領域として、学内での事前・事後指導も含めて実習科目を設置し、保育者としての実践力の基礎を育み、グループによる演習形式で、保育内容研究及び実践演習を行う科目を設置している。 ・実践演習に関しては、「遊びと協同活動を通じて子どもが全人格的に個人として、集団として発達・成長していく」という観点から、「保育内容に関する科目」、「保健・栄養に

関する科目」「教科・基礎技能に関する科目」「保育の心理学に関する科目」に関連する教科目の教員との連携によって教育指導を行うカリキュラム構成を実現している。 ・所定の科目を２年間で履修することにより保育者としての専門知識や技能の修得に加えて、行事、日常生活、課外活動を通じて、問題解決力、表現する力、実行する力、礼儀・マナーなどの「人間力」、保育者としての「コンピテンシー（有能性）」を高めることができるように支援していくことも、本学の広義の教育課程と位置づけ、行事を企画・指導、日常生活の指導・支援、課外活動の奨励・支援を適切に行っている。 ・保育者になるという目標を明確にし、専門職者としての職業意識を高めるため、キャリア教育・支援のための時間を設定している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ＨＰ https://www.yokotan.ac.jp/college/spirit）
（概要） 本学の教育理念にある通り、人のため、社会のために「愛と奉仕」を実践、実現できる保育者を志し、本学（保育科）での学修を達成するために必要な学力を含めた諸特性を備えた人物を求めます。「本学が求める人物像」： ・保育者をめざす強い目的意識をもっている ・他者を理解し思いやる心をもっている ・保育者にふさわしい以下のような人柄・能力をもっている ・明朗さ・社会性・協調性・奉仕の心・マナーを含めた社会常識・自己表現力・国語力（特に文章表現力）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ　https://www.yokotan.ac.jp/college/report

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
保育科	－	5 人	4 人	5 人	人	人	14 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	22 人	22 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：ＨＰ https://www.yokotan.ac.jp/hoikuka/teacher

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
保育科	200 人	63 人	32%	400 人	142 人	36%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	200 人	63 人	32%	400 人	人	36%	人	人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
保育科	106 人 (100%)	0 人 (%)	100 人 (94%)	6 人 (6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	106 人 (100%)	0 人 (0%)	100 人 (94%)	6 人 (6%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
保育所、幼稚園、認定こども園、保育所以外の施設など

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法、年間の授業計画などを記載した授業計画(シラバス)を作成し、学生・高等学校などの関係各所に配付し、またホームページでも公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
成績評価において、客観的な指標としてＧＰＡを設定している。ＧＰＡに応じて、注意勧告等による学修指導を行っている。成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施している。
卒業の認定に当たっては、「愛と奉仕の精神」を育み、保育の現場で活躍できる教養、専門知識、専門技術を身につけ、所定の単位を修得した者に「短期大学士（保育士）」の学位を授与している。あわせて、必要な単位の修得により、保育士証と幼稚園教諭二種免許状を取得できるようにし、全人格的に社会に貢献できる保育者を育成している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	保育科	６２単位	有	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ　https://www.yokotan.ac.jp/campuslife/campusmap

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	保育科	810,000 円	350,000 円	280,000 円	施設維持費
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
・独自の奨学金制度を設けると共に、各種奨学金に関する情報提供と制度利用のサポートを行い、経済的側面からの修学支援を図っている。
・教養演習によるゼミ担当やクラス担当、教学課が、サポートし、科目担当教員との連携しながら各学生の学習面での修学を支援している。
・所定の科目を２年間で履修することにより保育者としての専門知識や技能の修得に加えて、行事、日常生活、課外活動を通じて、問題解決力、表現する力、実行する力、礼儀・マナーなどの「人間力」、保育者としての「コンピテンシー（有能性）」を高めることができるように支援していくことも、本学の広義の教育課程と位置づけ、行事を企画・指導、日常生活の指導・支援、課外活動の奨励・支援を適切に行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
・保育者になるという目標を明確にし、専門職者としての職業意識を高めるため、キャリア教育・支援のための時間を設定している。
・キャリア支援室が中心となり、様々なガイダンスや各種団体の学内講演、就職模擬試験などを行っている。
・保育者以外の職業や進学等の多様な進路を希望・模索する学生に対しても、キャリア支援室を窓口に適切な資源を有する教職員が個別的に必要な支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
・保健室には看護師が常勤し、心身の健康や保健に関する相談に日常的に対応している。また、各年次の４月に全学生を対象に健康診断を行い、当該結果に基づく保健指導を保健室で行っている。
・相談室ではカウンセラーが精神的な問題や各種の悩みに対応しており、専門的な見地から助言している。
・ゼミ担当、クラス担当、学生課がサポートし、日常的な相談に応じ、学生たちの心身の健康を意識したきめ細かなサポートを実現している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ　https://www.yokotan.ac.jp/college/report